

令和8年度「インクルーシブな学校運営モデル事業」推進計画

○ インクルーシブな学校運営のおさえ

連携校が双方の特色や専門性を生かし、生徒に多様な「交流および共同学習」の機会を提供するとともに、特別支援教育に関するより実践的な共同研修や情報交換等を可能にする、連携・協働を基盤にした学校組織マネジメント

○ インクルーシブな学校運営の目的

障がいの有無にかかわらず、すべての生徒が多様な個性を認め合い、支え合いながら、共に学んでいくことができる教育環境をつくり、そこでの学び合いの蓄積と広がりを通して、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現に寄与すること

1. 学校経営への位置付け

グラウンドデザインに明記 「インクルーシブな学校運営計画」の策定

2. 教職員間の説明

通信の発行 「モデル事業」に関する研修会の実施（中高養）

3. 生徒・保護者・地域への説明

保護者向け文書の発出 WEBページによる情報発信 生徒用リーフレットの作成

PTA 役員会、学校運営協議会を活用した情報提供（中高養）

4. 組織的な運営

「交流及び共同学習」委員会（中高養）及び SAS 委員会（更農）を中心とした推進

合同「交流および共同学習」委員会による成果・課題の共有（年度末）

「交流及び共同学習」全体計画の作成（中高養）

5. 「連携校の教育資源活用」実施要項の運用

連携校への要望集約（年3回） 「受け入れ可能な授業等」の情報交換

6. アンケート調査による成果の検証

生徒アンケート 教職員アンケート

○ インクルーシブな学校運営の目標

A 多様な「交流及び共同学習」の機会を提供し、互いに尊重しながら協働して学ぶ態度を育む

1. 学校間交流
第2学年「交流学习」 中札内「道の駅」植栽活動
2. 各教科による共同学習
オンラインによる更農学校設定教科「カルチベーション」
「共同学習ウィーク」の実施（音楽科、美術科、保健体育科）
3. 新たな「交流及び共同学習」
「連携校の教育資源活用」実施要項の活用

B 共同研修や情報交換等を通して、実践的指導力を高め、学校の教育力の向上を図る

1. 初任段階教員研修
更農学校設定教科「カルチベーション」への授業参加
2. 公開研究会
「インクルーシブな学校運営」モデル事業報告会（12月予定）
3. 「共に学ぶ会」の継続
年8回程度の実施を予定 初任段階教員研修との連携
4. 新たな「共同研修や情報交換等」
「連携校の教育資源活用」実施要項の活用 連携校の人材活用を促進

* 下線は本年度の改善点